

レンコン農家で職場体験を行った中村さんは、日本の農業について自分が持った考えをみんなに知らせたいと思いました。次は、中村さんが用意した「レンコン農家の松下さんへのインタビューのまとめ」【インターネット資料の一部】【日本の農業人口の移り変わりを示すグラフ】です。これらを読んで、問いに答えなさい。

【レンコン農家の松下さんへのインタビューのまとめ】

質問 1：会社員をやめてレンコン農家を継ごうと思ったわけ

- ・ 子供の頃から家の手伝いをよくしていてレンコンの植え付けから収穫までの仕事をよく知っていたし、やりがいのある仕事だとずっと思っていたから。
- ・ 親が年をとってきて、レンコン農家を続けるかどうか迷っていた時、それなら自分が継いでもっともっと良質のレンコンを生産しようと、挑戦するような気持ちで決断した。

質問 2：レンコン農家としての苦勞

- ・ 台風の強風で、せっかく大きくなったレンコンの葉がぼろぼろにちぎれてしまうこと……泥の中でいいレンコンが育たないから。
- ・ 秋から冬にかけては、おせち料理で最も需要が多いので、たくさん出荷する。少くらい体が辛くてもがんばらなければいけないこと。

質問 3：レンコン農家としての喜び

- ・ 天候が安定し、レンコンに病気や害虫が発生せずに、味がよくて形のよいレンコンがたくさん収穫できたとき。
- ・ 食べた人から「おいしかった」と言ってもらえたとき。
- ・ 直売所で売っているレンコンが全部売れたとき。

質問 4：中学生に望むこと

- ・ 全国第2位の出荷量を誇る徳島の代表的農作物であるレンコンについて知ってほしい。
- ・ 独特の香りとホクホク・シャキシャキの食感で、とてもおいしく、いろいろな食べ方があるので、ぜひたくさん食べてほしい。
- ・ 中学生のうちから、いろいろな仕事を見たり体験したりして、働くことの意義について考えてほしい。

※注1 レンコンは、ハスの地下茎が肥大したもの。泥湿地で育ち、大きな葉が水面上に出る。十月から翌年の三月近年までが旬とされていたが、近年の栽培技術の向上でほぼ一年中収穫できるようになった。

(農林水産省ウェブページより作成)

1 【レンコン農家の松下さんへのインタビューのまとめ】から、松下さんが働くことについて、どんな考えをもっていることがわかりますか。最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

ア 若いときからいろいろな仕事に関心を持ち、体験を通して働くことの意義について考えるのがよい。

イ どんな仕事にも苦勞があるが、その苦勞を乗り越えたときに、働くことの喜びを感じられるものである。

ウ いつももつと上を目指して難しいことに挑戦しながら働くこと、やりがいを感ずることができるとよい。

エ 仕事の内容をよく知ることが最も重要なので、自分のつきたい仕事を早く決めて、多くの情報を集めるのがよい。





人力作業の負担を軽減

農業機械の開発や改良によって、農作業はずいぶん楽になりましたが、まだまだ人力で行う作業がたくさんあります。近年、収穫物の積み下ろしなどの重労働を軽減するため、作業者が体に装着し、体の動きをアシストするアシストスーツの開発が進んでいます。

収穫や運搬は重労働

ミカン産地では、収穫シーズンになると毎日100～200ケースの収穫コンテナをモノレールやトラックに積み込む作業が行われます。農家にとっては腰などへの負担が大きく重労働ですが、この作業は傾斜した畑の中で行われるため、機械化は容易ではありません。それなら、「荷物を持ち上げる人をロボットの力で助けよう」という発想でアシストスーツの開発が始まりました。

モーターの力で荷物の持ち上げをアシスト

開発当初は、体のすべての動きをアシストする全身型のスーツでしたが、農作業を楽にするために必要な機能は何かという研究が進み、荷物を持ち上げるときと、傾斜地を歩くときのアシストに絞られました。その結果、スーツの重さは開発当初約40kgから現時点は6.3kgへとずいぶん軽くなり、装着も容易になりました。

アシストスーツは、腰の部分にある二つのモーターで作業をアシストします。アシストスーツに埋め込まれたマイコンによって、歩き出したときには歩行、荷物を持ち上げようとしたときには腰のアシストを自動で行います。これにより、20kgの荷物を持ち上げる場合の力は10kgですむようになりました。人力で行っている農作業は他にも多くあり、さまざまな作業が楽になるよう、アシストスーツの応用が期待されます。

(農林水産省ウェブページより作成)

※注2 「アシスト」とは、人の仕事を手伝うこと・援助すること。

「アシストスーツ」は、人の体に装着して筋力を補強する機械。



- ア 農作業を助けるさまざまな機械
- イ アシストスーツが軽くなって登場
- ウ ミカンの産地にうれしい知らせ
- エ 農作業の強い味方アシストスーツ

問題について

「読むこと」社会について考えをもつ問題
(日本の農業について考える)

伝えたい内容や自分の考えについて、根拠を明確にして書くためには、複数の資料から適切な情報を得てそれらを比較したり関連付けたりすることが大切です。得た情報を既にかけている知識や経験、感情に統合したり、新しい問いや仮説を立てたりして、自分の考えを検証し、深めることも重要になります。
文章を読むときには、根拠の明確さや論理の展開の仕方、表現の仕方等について評価しながら読んでみましょう。

- 解答は、問題用紙に記入します。言葉や文章で答える問題は、条件に注意して書くようにしましょう。
- 解答を読んで、自分で答え合わせをすることもできます。文章で書く問題は、解答の例文を参考にしましょう。

解答

23 1 ア

2 エ

3 A (例)

日本の農業人口は減っているのに、農業人口に占める高齢者の割合は増えていること
(三十八字)

(例)

日本の農業は、農業人口の減少に伴って、高齢化が進んでいること
(三十字)

B (例)

技術開発によって、農作業の負担を軽減できるようになる可能性がある
(三十二字)

* 同様の内容が書けていればよい。

4 (1)

a
エ
b
カ
c
ウ
d
ア
e
イ

(2) (例)

日本の農業が抱えている高齢化や人手不足の問題が緩和される
(二十八字)

* 農業用のアシストスーツに着目して書けていればよい。

